

CSR・環境報告書

2013



JFE プラリソース 株式会社

目次

ごあいさつ	1
会社概要	2

企業理念・行動規範・行動指針	4
----------------	---

社会的側面	5
マネジメント体制	6
お客様・お取引先様とともに	8
地域社会の皆様とともに	10
従業員とともに	14
社外からの評価	21

環境的側面	26
環境マネジメント	27
環境コミュニケーション	30
環境負荷の低減	36

◇報告対象期間

2012年4月1日～2013年3月31日

資源循環型社会づくりへ貢献

代表取締役社長

堀田 裕久



JFE プラリソース株式会社は、2009 年 7 月 JFE 環境株式会社の『容器包装プラスチックリサイクル事業』を会社分割して承継しました。以来、高炉やコークス炉へのプラスチック利用及び材料リサイクルを含めたプラスチックリサイクル事業を通して、資源循環型社会づくりに努めております。

NF ボードを利用した材料リサイクルにより『CO₂削減』、更に使用後再リサイクルすることにより『化石燃料削減』等を実現しています。環境に優しい企業として、市民へのリサイクルの『見える化』に注力し、各種リサイクルを推進しております。

また、環境保全の重要性を認識し、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、全員参加型の環境マネジメント活動を進め、トップレベルの環境配慮型企业を目指します。

今回新会社設立による体制変化をチャンスと捉え、現場パワーアップを通して働きがいのある会社を目指し、社員一同団結して『夢とロマン』の溢れる会社づくりに向け頑張っていきたいと考えております。

弊社に対し、より一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願いいたします。

代表取締役社長

堀田 裕久

会社概要

会社名	J F E プラリソース株式会社		
代表者氏名	代表取締役社長 堀田 裕久		
役員氏名	取締役	鈴木 克紀	石井 邦彦 亀山 恭一
	監査役	池田 憲英	
設立年月日	2005 年 11 月 2009 年 3 月登記（定款・社名変更）		
資本金	90 百万円		
売上高	約 30 億円		
従業員数	約 70 名		
住所	本社	〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町 5 番地 1 TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328	
	京浜事業部	同上	
	福山事業部	〒721-0956 広島県福山市箕沖町 1 1 3 番地 TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170	
URL	http://www.jfe-plr.co.jp/		
事業内容	一般廃棄物の再資源化およびリサイクル事業 上記事業に関する技術・装置および再生プラスチック商品の販売		
沿革	2000 年 4 月	水江原料化工場稼働（処理能力 185 t / 日） 福山原料化工場稼働（処理能力 200 t / 日）	
	2002 年 9 月	N F ボード製造工場稼働	
	2009 年 7 月	J F E 環境株式会社から容器包装プラスチックの リサイクル事業を承継 J F E スチール株式会社が全株式取得（100%子会社）	

京浜事業部
水江原料化工場



N F ボード製造工場



福山事業部
福山原料化工場



企業理念・行動規範・行動指針

企業理念

「JFEプラリソース株式会社は、環境と調和した社会の構築に貢献します。」

行動規範

「挑戦。柔軟。誠実。」

JFEプラリソース株式会社 行動指針

JFEプラリソース株式会社の役員および社員は、「企業理念」の実現に向けたあらゆる企業活動の実践において、「行動規範」の精神に則るとともに以下の「行動指針」を遵守する。

経営トップは自ら率先垂範の上、社内への周知徹底と実効ある体制整備を行い、企業倫理の徹底を図る。

本行動指針に反する事態には、経営トップ自らが解決にあたり再発防止に努める。また、社内外への迅速かつ確かな情報公開を行い、権限と責任を明確にした上で厳正な処分を行う。

1. 良質な商品・サービスの提供

優れた技術に基づいた安全で高品質の商品とサービスの提供に努めるとともに、個人情報・顧客情報の保護に十分配慮し、お客様から高い評価と信頼を得る。

2. 社会に開かれた企業

株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報について、社会への積極的な情報公開に努める。

3. 社会との連携と協調

良き企業市民として、社会との連携と協調を図り、積極的な社会貢献に努める。

4. グローバル化

グローバルな視点を持ち、各種の国際規範はもとよりそれぞれの文化や習慣を尊重し、世界の様々な人々との相互理解に努める。

5. 地球環境との共存

地球環境との共存を図るとともに、快適な暮らしやすい社会の構築に向けて主体的に行動する。

6. 政治や行政との関係

政治や行政との健全かつ正常な関係の維持・構築に努める。

7. 反社会的勢力への対応

市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切の関係を遮断し、違法・不当な要求には応じない。

8. 人権の尊重

社会の人々、従業員を個として尊重し、企業活動において一切の差別を行わない。

9. 働きがいのある職場環境

従業員にとって魅力に富み、安全で働きがいのある職場を提供する。

10. 法令の遵守

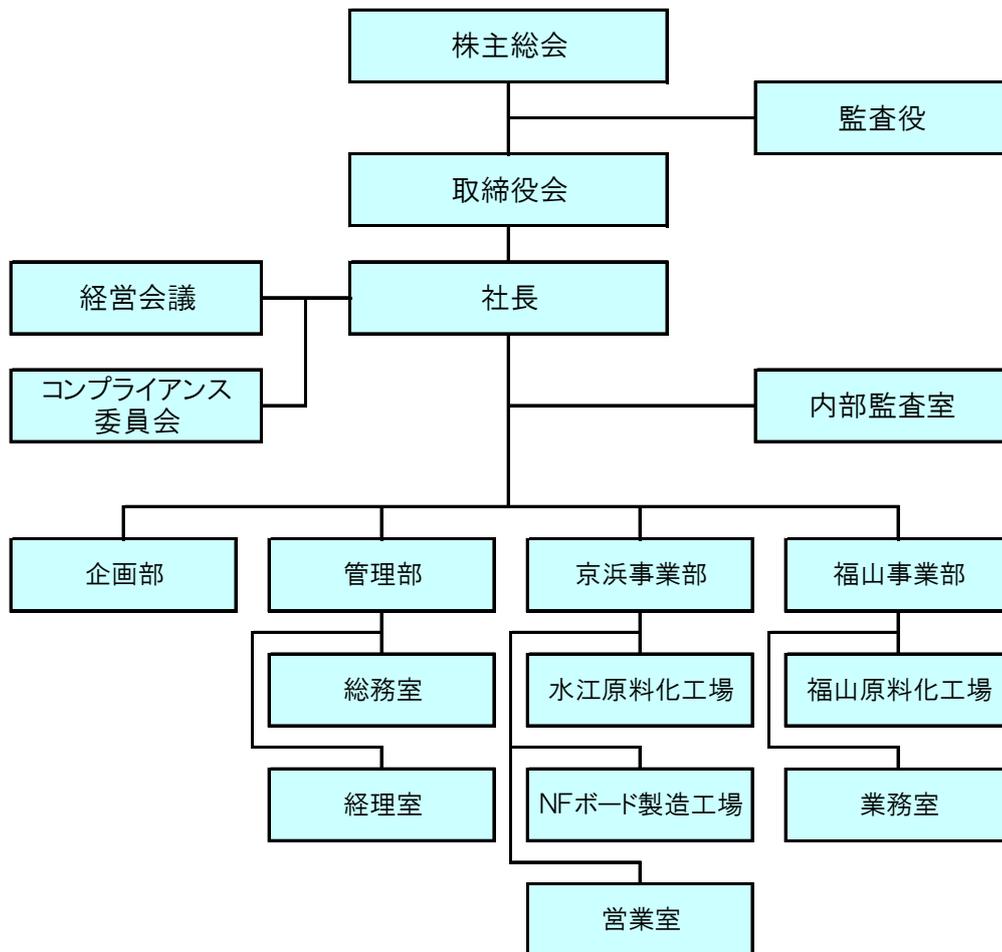
法令を遵守し、公正で自由な競争に心がけ、適法な事業活動を行うとともに、健全な商慣習に則り、誠実に行動する。

社会的側面

マネジメント体制

経営体制

スリムな経営体制を構築し、効率的な事業推進による競争力の強化と収益力の拡大を図っています。



内部統制

内部統制体制は、取締役会規則・経営会議規則などの会議規程、組織・業務規程の制定や、企業倫理ホットラインの設置などによって整備されています。持続的な企業価値の向上のため、整備・運用状況について定期的に確認し、改善に努めます。

契約管理、環境管理、法令遵守状況などの業務プロセスについて、定期的な自己チェックを実施するとともに、内部監査室による監査を実施します。

CSRマネジメント

社会を構成する一員としての企業の責任を自覚し、より良い社会の構築に向けて企業の社会的責任（CSR）を果たすべく、取り組みを強化しています。

コンプライアンス（法令遵守）の徹底

CSRの基礎をなす「コンプライアンス（法令遵守）」を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、社長をリーダーとするコンプライアンス委員会を開催し、以下の審議や情報交換を行うとともに、諸施策を実施しています。

- ・ コンプライアンス基本方針の審議・決定
- ・ コンプライアンス課題と対策の検討・実施
- ・ コンプライアンス案件の紹介と社内での周知徹底

企業倫理ホットラインの運用

コンプライアンスにかかわる重要情報が現場から経営トップ（社長）に迅速かつ正確に伝わるよう「企業倫理ホットライン」を設置しています。ホットラインの運用にあたっては、通報・相談者の保護に関する規則を定めています。

リスクマネジメント

事業を取り巻くあらゆるリスクの予防と、緊急事態が起こった際にも事業を継続していけるよう、リスクマネジメントに取り組んでいます。

各工場で重要リスクを洗い出し、リスク評価・対応策を検討し、実行状況を管理しています。重要リスクは毎年見直し、各年度で重要課題を設定しています。また、工場間の情報交換や情報共有により、全社一体の活動を推進しています。

新型インフルエンザに対する対策や大型地震発生時の対策等について、重要継続業務リストの作成、備蓄品の整備などを進め、リスクマネジメントの強化を図っています。

お客様・お取引先様とともに

品質管理、CS（お客様満足）向上

生産部門から管理部門まで技術標準を制定し、徹底した品質マネジメントを推進しています。お客様とのコミュニケーションを積極的に図り、お客様のご意見・ご要望に真摯に対応して、課題を解決することで、お客様満足度の向上をめざしています。

社会とのコミュニケーション

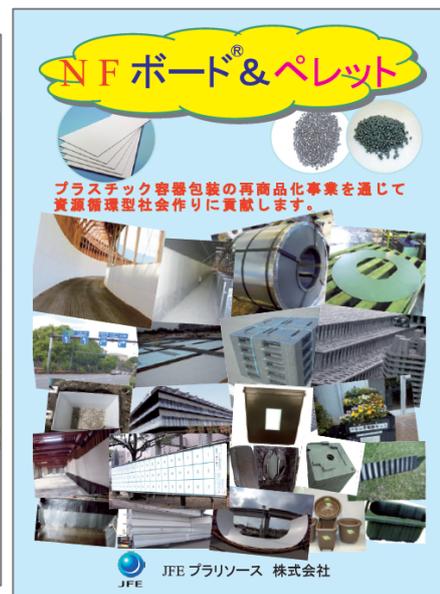
当社では2009年7月の発足以来、ホームページを開設しています。会社概要、事業案内（NFボード・ペレット）とともに環境への取り組みを掲載しています。

容器包装プラスチックのリサイクルを分かり易く理解いただけるよう「リサイクルの見える化」を目指しています。加えて、製品パンフレットやカタログを作成し、用途開発の提案も行っています。

また、ステークホルダーの方々とのコミュニケーションツールとして、資料の請求やお問合わせ等をしていただける窓口を設けています。

<http://www.jfe-plr.co.jp/>

随時、内容を更新し常に最新の情報を発信・公開できるよう努めています。



環境・省エネ・省資源情報開示

2011年度より毎月環境配慮データの更新を行い、工場ごとに管理値及び目標値を定め、ホームページやエコアクション21環境活動レポートにて実績を積極的に公表しています。

○ ホームページ「2012年度 施設の維持管理記録」

項目	単位	管理値	至近の測定実績						測定頻度	備考		
			10月	11月	12月	1月	2月	3月				
公害防止	①ばい煙(1系)	煤塵	g/m ³ N	0.10以下	-	-	0.001	-	-	0.006	3ヶ月毎(6、9、12、3月)	ライン毎
		SOx	m ³ N/h	1.45以下	-	-	0.1未満	-	-	0.1		
		NOx	ppm	230以下	-	-	10	-	-	15		
	①ばい煙(2系)	煤塵	g/m ³ N	0.10以下	-	-	0.002	-	-	0.006		
		SOx	m ³ N/h	1.45以下	-	-	0.1未満	-	-	0.1		
		NOx	ppm	230以下	-	-	5	-	-	10		
	②側溝滞留	pH	-	5.8~8.6	-	-	7.3	-	-	7.4		
		COD	mg/L	130以下	-	-	28.0	-	-	11.0		
	③臭気	敷地境界	-	30以下	-	-	14	-	-	16		
		ペール置場	-	90以下	-	-	56	-	-	49		
④振動	敷地境界	dB	70以下	-	-	41	-	-	46			
	敷地境界	dB	75以下	71	72	71	72	72	73			
廃棄物管理	⑥プラ廃棄物発生量	kg/t	200以下	190	160	200	200	280	260	毎月	工場全体	
	⑦プラ廃棄物熱利用効	%	80以上	83	83	82	81	82	82			
	⑧汚泥排出量	kg/t	40以下	30	30	40	50	40	30			
環境負荷管理	⑨CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /t	400以下	367	391	382	364	396	385			
化学物質管理	⑩消泡剤	kg/t	4.0以下	1.5	3.0	3.8	3.7	3.8	4.3			
	⑪油脂	kg/t	0.15以下	0.05	0.05	0.05	0.05	0.11	0.52			
用役管理	⑫電力	kWh/t	600以下	597	620	599	567	617	613			
	⑬Cガス	m ³ /t	33以下	16	24	28	27	28	22			
	⑭蒸気	kg/t	50以下	28	42	46	51	60	51			
	⑮水資源	m ³ /t	0.35以下	0.26	0.24	0.22	0.18	0.20	0.23			
⑯車両燃料	軽油	L/t	4.0以下	3.8	4.1	4.0	4.0	4.2	3.7			
	ガソリン	L/t	0.20以下	0.20	0.22	0.05	0.14	0.09	0.11			

○エコアクション21環境活動レポート「推進項目に対する'12年度の実績と評価」

	推進項目	単位	'12目標	'12実績	評価	
1	電力削減 &CO ₂ 削減 (処理量当たり)	福山原料化	kWh/t	387	388	×
			kg-CO ₂ /t	190	190	
		NFボード	kWh/t	467	416	○
			kg-CO ₂ /t	264	235	
		計	kWh/t	414	399	○
	kg-CO ₂ /t	215	208			
2	化石燃料削減 &CO ₂ 削減 (処理量当たり)	福山原料化	m ³ /t	9.6	8.46	○
			kg-CO ₂ /t	21.4	18.9	
		福山原料化	L/t	4.65	4.64	○
		車両燃料	kg-CO ₂ /t	12.2	12.1	
		NFボード	L/t	0.438	0.383	○
車両燃料	kg-CO ₂ /t	1.02	0.62			
計	L/t*	10.1	8.8	○		
	kg-CO ₂ /t	22.6	19.1			
3	水使用量削減 (処理量当たり)	福山原料化	m ³ /t	0.242	0.259	×
		NFボード	m ³ /t	0.35	0.306	
		計	m ³ /t	0.278	0.278	○
4	コピー&印刷用紙削減(全社)	千枚/月	29	26.8	○	
5	リサイクル率向上※ ¹	福山原料化	%	74.1	72	×
		NFボード	%	99.6	99.6	
		計	%	82.7	82.9	○
	製品歩留向上※ ²	NFボード	%	95.7	97.2	○

地域社会の皆様とともに

見学の受け入れ

地域社会に開かれた会社をめざして、一般市民の皆様の見学を積極的に受け入れています。市町村をはじめとする行政機関や海外の方々にも視察いただきました。

2012 年度見学実績

	件数	人数
一般	14	336
中央官庁	6	55
市町村	11	94
海外	2	20
計	33	505



啓発活動

資源循環型社会を実現するため、地域主催行事に多数参加・協力し、一般市民の皆さまに情報発信して、ご理解を深める活動を積極的に行っています。

(1) 京浜地区

活動内容
① NPO法人 産業・環境創造リエゾンセンターの総会、定例会、交流会に参加。当社の環境活動を報告。(4/26、5/18、7/19)
② 川崎市政策懇談会、企業・行政懇談会、循環型地域社会連絡会議に参加。(5/28、10/19、11/7、2/7)
③ 川崎市臨海部リエゾン推進協議会、活性化シンポジウムに参加。(8/1、10/31、11/1、2/15)
④ CC川崎エコ会議、川崎市地球温暖化対策説明会に参加。(11/22、3/14)

(2) 福山地区

活動内容
① 「福山市ごみ処理施設等バス工場見学ツアー」への協力。(5/25、7/10、11/5、11/29)
② 福山市職場体験学習の受入。(8/21)



行政との連携

プラスチック製容器包装の再資源化を中心に、環境活動全般について、市町村等の行政機関と以下のように連携しました。

期 日	行 事
2012年 4月	<p>菜の花まつり（福山市）</p> <p>福山市リサイクルプラザが春に開催するリサイクル体験イベント。 展示コーナーにて、当社のリサイクルフロー及び製品を多数展示。 1日間の開催（4月15日）で、約1,000人の来場。</p> 
2012年 8月	<p>「夏休みかんきょう体験隊」（福山市）</p> <p>福山市による、子ども達が「体験しながら、みんなで楽しく環境のことを考える環境イベント」。 家庭から出される容器包装プラスチックごみがリサイクル製品になるまでの流れを子ども達にわかり易いように展示。 1日間の開催（8月11日）で、約1,000人の来場。</p> 
2012年 10月	<p>第11回福山市リサイクルフェスタ（福山市）</p> <p>環境にやさしいライフスタイルのきっかけ作りの場として福山市が開催。 当社再商品化製品やNFボードを多数展示し、プラスチック製容器包装のリサイクル推進を呼びかけ。 1日間の開催（10月14日）で、約5,000人来場。</p> 

期 日	行 事
2012年 10月	<p>じばさんフェア2012 (備後地域地場産業振興センター)</p> <p>2012年度は、「省エネと次世代エネルギー」がテーマ。 当社は「福山市次世代エネルギーパーク」のPRコーナーに出展。 (2012年1月、経済産業省により認定)説明パネルと製品サンプル展示、説明により当社のリサイクル事業内容、環境への取組と製品を紹介。 2日間の開催(10月27日~28日)で、約11,000人来場。</p> 
2012年 10月	<p>幸区子ども環境展(川崎市)</p> <p>「見て、聞いて、さわって、環境について考えてみよう」をテーマとした幸区誕生40周年記念イベント。 当社再商品化製品やNFボードを多数展示し、プラスチック製容器包装のリサイクルの仕組みを子ども達にもわかり易く説明し、興味を持ってもらう取り組みに協力。 1日間の開催(10月28日)で、約1,100人来場。</p> 
2012年 12月	<p>第14回エコプロダクツ2012 (社団法人産業環境管理協会・日本経済新聞社)</p> <p>コンセプトは「The Greener, The Smarter — えらぼう未来を」。 当社は、JFEグループとして出展しCO2削減及び環境負荷低減への貢献をリサイクルフロー図や当社再商品化製品を多数用いて来場者に紹介。 3日間の開催(12月13日~15日)で、約179,000人来場。</p>   

期 日	行 事
2013年 2月	<p>川崎国際環境技術展2013（川崎市）</p> <p>テーマを「今、かわさきから世界に伝えたい環境技術」とし、環境分野での産業交流技術移転による国際貢献の推進を目的として、川崎市が開催。製品サンプル等多数PR展示し、当社の環境への取り組みを紹介。</p> <p>2日間の開催で、約15,000人来場。 (2月1日～2日)</p> 
2013年 2月 3月	<p>エコでえ〜ことキャンペーン（福山市）</p> <p>福山市が節電やレジ袋削減等を通じ、市民の環境意識の醸成を目的とし実施。循環型社会の構築をめざす運動に協賛するとともに、福山事業部従業員全員で取り組みに参加。</p> <p>対、前年度同月からの節電にチャレンジ。 (2月1日～3月31日)</p>  
2013年 3月	<p>サイエンスフェスティバル（川崎市）</p> <p>国際的な研究開発拠点の形成に取り組む川崎市は殿町地区を国際戦略拠点「キングスカイフロント」と名付け、まちびらき記念式を開催。当社のリサイクル事業内容、製品、環境への取り組みと川崎市と共にプラスチック製容器包装のリサイクルを協力推進していることを紹介。</p> <p>1日間の開催（3月28日）で、約800人来場。</p> 

従業員とともに

労働安全衛生

従業員の安全と健康の確保は、企業の基盤を成すものです。「安全は全てに優先する」の基本理念のもと、JPR安全文化を定着させるよう、「ワースト5作業」の改善活動を継続しています。

トップから「三手の読み（初手…自分が行動する時、二手目…相手の行動を危険予知、三手目…自分の行動を決定）で安全再確認」と「行動前の深呼吸」を発信中です。

2013年 安全衛生活動方針

1. 基本理念

『安全は全てに優先する。』
・異常時は必ず止めてKY実施

2. 活動目標

『完全無災害の達成』

3. スローガン

『三手の読みで安全再確認 ヨーシ！』

4. 活動方針

- (1) 『ちょっと待て！行動前の深呼吸』を徹底
- (2) 「ワースト5作業の改善活動」を通して
『日本一安全で快適な職場作り』
- (3) 明るい挨拶・指差呼称・徹底5Sを通して
『笑顔ではつらつとした活性人間創り』
- (4) 心と体の健康づくり
『鳥・虫・魚の眼でメンタルヘルスケア』
『運動と食事習慣チェンジで健康人間造り』



社長パトロール



産業医講話

防災への取り組み

防災管理

防災は企業の生命線であるとともに、社会に対して責務を負っているものです。

当社では、緊急時の処置基準、通報基準、連絡基準等を技術標準に規定し、万が一に備えています。また、発災リスク管理を行い、重点管理すべき項目を洗い出し、日々の防災点検を実施しています。



消防訓練

万が一の場合は、初動が重要です。

当社は、プラスチックという可燃物を大量に扱っていますので、火災予防に重点を置き、定期的に消防署や製鉄所消防隊及び自衛消防隊との合同消防訓練等を実施しています。



- ◇京浜地区 2012年 5月25日(金)
2012年 9月28日(金)
- ◇福山地区 2012年 5月24日(木)
2012年 8月27日(月)

大規模地震想定訓練

大規模地震及び津波が発生したという想定のもと、緊急事態の措置及び連絡対応・避難訓練を実施しました。緊急措置後の事業継続に必要な事項についても検討し、防災体制の強化を推進しています。また、備蓄品の点検も定期的実施しています。



- ◇京浜地区 2012年 9月13日(木)
- ◇福山地区 2012年11月20日(火)



社外競技会への参加

市消防署の主催する消防競技会に毎年参加し、技能向上に努めています。

2012年10月 3日(水)
於：福山市芦田川河川敷



フォークリフト運転技術・技能の向上

安全活動の一環として、初心者を含め職場全員を対象とした訓練を教育計画に基づき、実施しています。

JFEプラリソース株式会社

フォークリフト安全運転 10ヶ条

- ① **左側乗降車(右側乗車禁止)**
左側から取手で3点指示しながら乗車する。
- ② **シートベルト着用**
フォークリフト運転時は必ず、シートベルトを着用する。
- ③ **指差呼称**
重機作業時は、指差呼称で安全を確認する。
- ④ **走行及び旋回時の制限速度厳守**
(走行 7km/h以下、旋回 4km/h以下)
- ⑤ **急旋回・急発進・急停車厳禁**
急旋回、急発進、急停車は絶対に行わない。
- ⑥ **一旦停止(出入口等)**
白線前で必ず一旦停止しホーンを鳴らす。
- ⑦ **荷役装置の位置(GL+200mm以下)**
無負荷走行時には、荷役装置の最下限を厳守。
- ⑧ **複合操作禁止**
ペール運搬走行時、荷役装置の操作禁止。
- ⑨ **ペール2段掴み時はバック走行**
ペール上下2段掴み時は、バック走行する。
- ⑩ **降車時のキー抜き厳守**
フォークを降りる時は、必ず、キーを抜きキーボックスへ収納する。



◇京浜地区 2013年 3月 14日(木)
フォークリフト走行速度体感訓練



◇福山地区 2013年 2月 18日(月)
フォークリフト旋回体感訓練

ステップ	項目	新人教育スケジュール						定期検定
		1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	6ヶ月目	9ヶ月目	12ヶ月目	4月/10月
1	①公的ライセンス取得	☆						
2	②社内安全講習	↓						
	③学科試験	↑ 不合格	☆					
3	④実技講習		↓ 合格					
	⑤実技試験(仮免許)		↑ 不合格	☆	合格			
4	⑥更新試験(仮免許)				☆	☆	合格 ☆	
	⑦定期検定(本免許)			不合格				☆ ☆

メンタルヘルス活動への取り組み

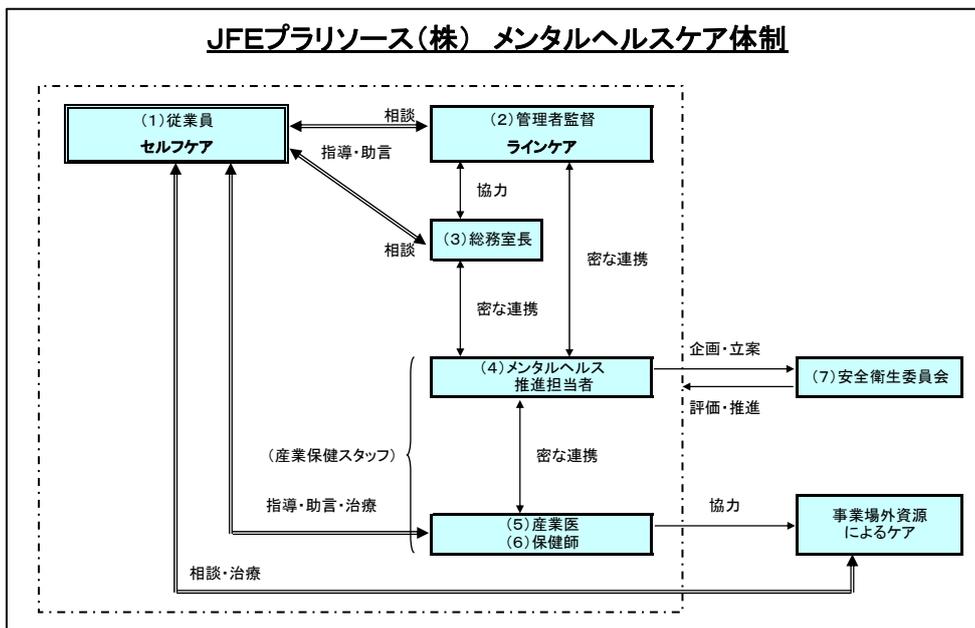
従業員の安全と健康を確保するため、「心の健康づくり計画」と題したメンタルヘルス活動に取り組んでいます。

従業員の心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活のために、また事業場の生産性及び活気ある職場づくりのために重要な課題です。

そのことを認識し、メンタルヘルス不調の対応だけでなく、職場でのコミュニケーションの活性化などを含めた広い意味でのケア活動を目指しています。

推進担当者は産業医の助言を得ながら、年間スケジュール及び達成目標を定め、社内はもとより専門機関との連携により内容の充実化を図っています。

当年度は、全従業員への研修会に加え、外部専門機関によるストレスチェックを実施しセルフケアの重要性周知を目標とした活動を実施しました。



『BESTな作業環境』への取り組み

当社は、発足時(2009年7月)より「安全で働きやすい工場づくり」を積極的に推進してきました。

2012年度には、「日本一安全で快適な職場づくり」を目指す『BEST活動』(’13~’15の3カ年に展開)の発案・準備をしました。

BEST活動とは

「眼」「耳」「手」等から受ける五感を通じて、BESTな作業環境を追求し、『日本一安全で快適な職場創り』を目指す活動。

- ・ **BEM** : Background Encouraging Music
(バックグラウンド エンカレッジング ミュージック)
「心を高揚させる音楽により、ゆとりのある作業雰囲気」
- ・ **Skill up board** : スキルアップボード
「技術・技能のレベルアップと作業時のKY(危険予知)」
- ・ **Tool Box** : ツールボックス
「整理整頓された工具により、安全&快適な作業環境」

『BEST活動』

(’13~’15)

* 5感BESTで
『BESTな安全&品質』を創造

1. 五感BEST活動

- ①目から**スキルアップボード** (視覚)
- ②耳から**BEM** (聴覚)
- ③鼻から**臭い検知** (嗅覚)
- ④口から**指差呼称** (知覚)
- ⑤手から**ツールボックス** (触覚)

2. BESTな安全

- ①「**鳥虫魚の眼**」でKY(危険予知)
- ②「**三手の読み**」でKY
- ③「**心のゆとり**」でKY

3. BESTな操業

- ①**品質BEST**
- ②**能率BEST**
- ③**歩留BEST**

JFEプラリソース(株)
BEST活動委員会



工場内「BEST活動」



工場内掲示 スキルアップボード

小集団活動、事例発表大会（第4回）

当社では、小集団活動を『SK1活動（S：職場、K：活性化、1：No1）』と名づけ、生き生きと活性化した職場づくりを目指して、2009年度より積極的に活動に取り組んできました。

活動開始から4年目となる当年度はより一層のレベルアップを目的とし、基本方針を「量から質」としました。テーマ件数を絞り込むことで、従来より一歩踏み込んだ活動に取り組むことが可能となり、更なる現場力向上に繋げることができました。

（テーマ件数 ‘11年度 35件→’12年度 21件）

また、工場グループに加え女性グループも活動に取り組み大会で発表するなど、女性の戦力化により、職場の活性化の「見える化」が進んでいます。

大会時の表彰には「発表表彰」に加え、年間の活動評価に対する「活動表彰」があり地道に活動に取り組む全従業員の、ステップアップへのモチベーションとなっています。

【2012年度 SK1活動表彰】

表彰	事業部	受賞工場/協力会社	テーマ名
社長賞	共通	全社女性（みずほ）	月末月初における仕事の平均化と正確化
	福山	福山原料化工場（よるず屋）	PVC選別機水入替における作業効率と安全対策

【2012年度 SK1発表表彰】

表彰	事業部	受賞工場/協力会社	テーマ名
最優秀賞	京浜	京浜事業部設備チーム	KHDセンサーにおける分解修理精度の確立
	福山	福山原料化工場設備チーム	材り操業におけるPVC選別機処理量アップ対策
優秀賞	京浜	NFボード製造工場	5S強化に向けて ～ハト糞害の撲滅～
	福山	福山原料化工場（ナウス）	PVC選別機水入替における作業効率と安全対策
奨励賞	京浜	水江原料化工場	残渣トラック、プラ飛散防止対策
	京浜	水江原料化工場（英宝総合）	現場作業環境の改善
	福山	福山原料化工場（ナウス）	破碎作業におけるプラ掻き出し作業の改善
特別賞	共通	全社女性	月末月初における仕事の平均化と正確化



◇事例発表大会 2013年2月14日(木) 於：水江教育センター

安全大会（第4回）

当社では「ゼロ災職場」の構築を目指した安全活動の一環として、リスクレベルの高い作業を「ワースト5作業」と選定し、年間を通して作業安全・環境改善活動に取り組んでいます。当年度は、工場部門4件・設備部門1件を合わせた計5件の事例発表がありました。また、発表後にはグループの経営者の方より安全講話を頂きました。「規律ある職場を作り安全文化を創造する」をテーマに、トップ及び管理監督者の安全責任に加え、「安全三原則」（標準作業・点検整備・整理整頓）について、基本に立ち返ることの重要性を学ぶことができました。

【2012年度 事例発表大会 2013年3月29日（金） 於：水江教育センター】

No	工場	発表テーマ
1	福山原料化工場・ナウス（株）合同	安全に強くなるナウスを目指して
2	英宝総合（株）	全員参加で「ご安全に！！」
3	水江原料化工場	工場内作業効率アップ対策
4	設備チーム・（株）エスポート合同	何故同じ失敗を繰り返すか
5	NFボード製造工場	フォークリフト安全作業の確立

各職場が「安全で快適な職場づくり」を目指し、様々な問題点にチーム一丸となって解決に取り組む姿勢が「無災害記録達成」に繋がります。今回の無災害表彰は以下のとおりです。

【2012年度 安全表彰】



表彰区分	受賞部署
総合無災害記録達成賞 （第4種優秀賞）	水江原料化工場
	NFボード製造工場
	水江設備チーム
	福山原料化工場
優秀ドライバーチーム賞 （第4種優秀賞）	水江原料化 Dチーム
	福山原料化 Dチーム
〔請負部門〕 総合無災害記録達成賞 （第1種努力賞）	英宝総合（株）

N F ボード商標登録

商標 : N F ボード
登録番号 : 登録第 5481636 号
出願番号 : 商標 2011-060201
登録日 : 平成 24 年 3 月 30 日



指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分

- (第 17 類) プラスチック基礎製品、プラスチック製の梱包用緩衝材又は詰物用材料
その他のプラスチック製の梱包用資材、電気絶縁材料、ゴム製包装用容器、農業用プラスチックフィルム
- (第 19 類) コンクリート型枠用ボード（金属製のものを除く。）、セメント製品製造用型枠（金属製のものを除く。）
プラスチック製建築専用材料、プラスチック製の畜舎用壁材、プラスチック製内装材、リノリウム製建築専用材料、合成建築専用材料、アスファルト及びアスファルト製の建築用又は構築用の専用材料、ゴム製の建築用又は構築用の専用材料、しっくい、石灰製の建築用又は構築用の専用材料、石こう製の建築用又は構築用の専用材料、繊維製の落石防止網、建造物組立てセット（金属製のものを除く。）、道路標識（金属製又は発光式若しくは機械式のものを除く。）、航路標識（金属製又は発光式のものを除く。）、吹付け塗装用ブース（金属製のものを除く。）
- (第 20 類) プラスチック製の立て看板又は掲示板、プラスチック製の包装用容器、つい立て、びょうぶ、荷役用パレット（金属製のものを除く。）、輸送用コンテナ（金属製のものを除く。）、家具、ベンチ

福山市次世代エネルギーパーク計画認定登録事業場認定 (福山原料化工場)

所管 : 経済産業省 資源エネルギー庁

認定日 : 平成 24 年 1 月 24 日

実施運営主体 : 福山市

場所 : 広島県福山市箕沖町周辺ほか

経済産業省による次世代のエネルギーについて実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方に関する国民の理解の増進を図る認定制度。

平成 23 年度には、全国で 41 件が認定される。

テーマは「低炭素」「資源循環」施設が集積する“びんごエコタウン”からエコ情報を発信。

認定関連登録事業場は弊社を含め 11 箇所。

福山市「福山市次世代エネルギーパーク」

「低炭素」「資源循環」施設が集積する“びんごエコタウン”からエコ情報を発信

【実施運営主体】

福山市

【場所】

広島県福山市箕沖町周辺 ほか

【パークの特徴】

- ・平成23年12月に稼働した中国電力株式会社福山太陽光発電所(メガソーラー)をはじめ、多くの太陽光発電設備の設置が進んでいる。
- ・RDF(バイオマス)発電、製造施設も立地している。
- ・福山市リサイクルプラザは福山市の環境学習の拠点となっている。
- ・エコについて「見て触れる」ことのできる「環境関連施設見学バスツアー」など地球環境と調和した次世代エネルギー社会についての学習機会を幅広い世代に提供する。
- ・また、臨海型スマートコンパクトシティの実証実験を推進することとしている。



福山観光キャンペーン「体験・見学素材集」掲載 (福山原料化工場)

発刊元 : 福山観光キャンペーン実行委員会

事務局 : 福山市経済環境局経済部観光課

タイトルは、「感動・体験いっぱい
来てみ～ふくやま」。

修学旅行生などの観光客招致のため、
2013年度に情報提供冊子として旅行
会社や学校へ配布される。

「体験」、「産業観光」、「教育旅行受
入れ宿泊施設」及び「お土産・特産品」
などのテーマごとに福山市の見どころを
紹介。

弊社は、「産業観光 福山次世代エネルギ
ーパーク」内にて掲載・紹介される。



■ 産業観光 福山次世代エネルギーパーク

Q エネルギーパークとは？

太陽光などの次世代のエネルギーについて、実際に見て触れる機会を増やすことを通じて、将来のエネルギーの在り方について、理解の増進を図るため、設備や体験施設等を整備したところ。



プラスチックを再商品化

事前申込要

JFE プラリソース 株式会社

当工場では、一般家庭から分別排出された使用済み容器包装プラスチックを原料として、高炉還元剤や再生プラスチック原料に再商品化（リサイクル）する事業を行っています。

所在地／福山市箕沖町 113
所要時間／約 1 時間
事業概要説明 (15 分) → DVD 工場紹介 (15 分) →
工場見学 (20 分) → 質疑応答 (10 分)
見学可能時間／10 時～16 時 原則、月～金曜日 (祝日・年末年始除く)
受入人数／50 人以内
駐車場／大型バス 2 台
問い合わせ先／福山事業部 福山原料化工場 Tel/084 (981) 3160
HP／<http://www.jfe-plr.co.jp/>

認定

1. 新建築技術

所掌

： 財団法人 日本建築センター

新技術名称

： 再生型枠「NFボード」

認定番号

： BCJ-AIBT-12

認定日

： 2003年9月26日～
2013年9月25日



2. グリーン購入法

所掌

： 環境省

特定調達物品適合品

： コンクリート用型枠

名称

： NFボード

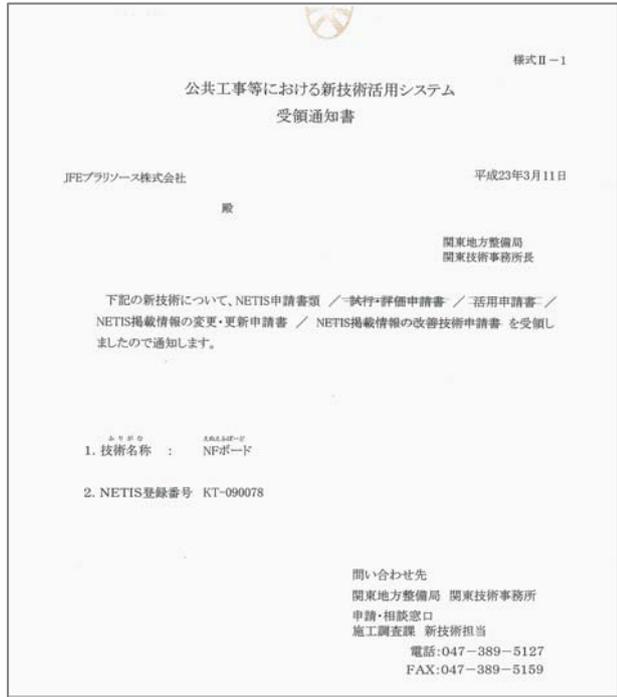
施工日

： 2008年3月10日



3. NETIS（新技術情報提供システム）登録

所掌
： 国土交通省
新技術名称
： NFボード
NETIS番号
： KT-090078
登録日
： 2010年3月26日



様式II-1
公共工事等における新技術活用システム
受領通知書

JFEブラリソース株式会社 平成23年3月11日

関東地方整備局
関東技術事務所長

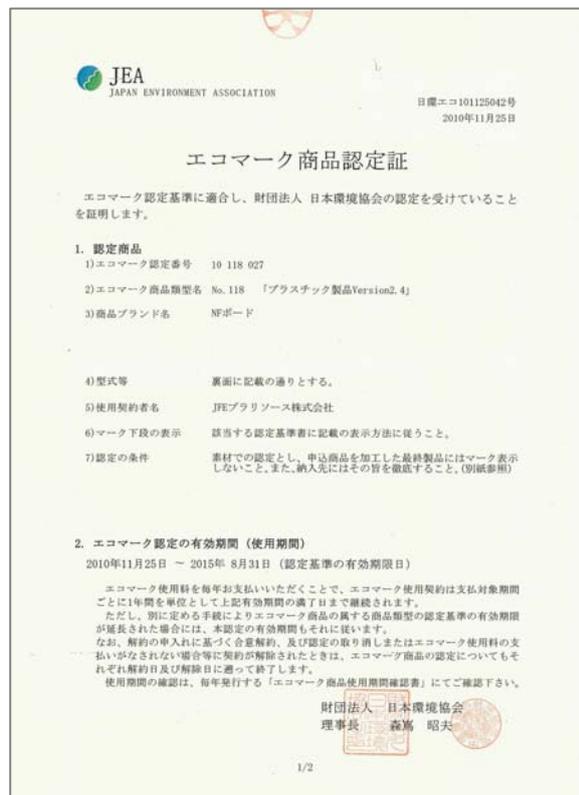
下記の新技術について、NETIS申請書類 / 実行・評価申請書 / 活用申請書 /
NETIS掲載情報の変更・更新申請書 / NETIS掲載情報の改善技術申請書 を受領し
ましたので通知します。

1. 技術名称 : NFボード
2. NETIS登録番号 : KT-090078

問い合わせ先
関東地方整備局 関東技術事務所
申請・相談窓口
施工調査課 新技術担当
電話:047-389-5127
FAX:047-389-5159

4. エコマーク認定商品

所掌
： 財団法人日本環境協会
商品ブランド名
： NFボード
認定番号
： 10 118 027
認定期間
： 2010年11月25日
～
2015年 8月31日
商品類型名
： No.118
「プラスチック製品 Ver.2.4」



JEA
JAPAN ENVIRONMENT ASSOCIATION
日環エコ101126042号
2010年11月25日

エコマーク商品認定証

エコマーク認定基準に適合し、財団法人日本環境協会の認定を受けていること
を証明します。

1. 認定商品

- 1) エコマーク認定番号 10 118 027
- 2) エコマーク商品類型名 No.118 「プラスチック製品Version2.4」
- 3) 商品ブランド名 NFボード
- 4) 型式等 裏面に記載の通りとする。
- 5) 使用契約者名 JFEブラリソース株式会社
- 6) マーク下段の表示 該当する認定基準書に記載の表示方法に従うこと。
- 7) 認定の条件 素材での認定とし、申込商品を加工した最終製品にはマーク表示しないこと。また、納入先にはその旨を徹底すること。(別紙参照)

2. エコマーク認定の有効期間（使用期間）
2010年11月25日～2015年8月31日（認定基準の有効期限日）

エコマーク使用料を毎年お支払いいただくことで、エコマーク使用契約は支払対象期間
ごとに1年間を単位として上記有効期間の満了日まで継続されます。
ただし、別に定める手続によりエコマーク商品の属する商品類型の認定基準の有効期限
が延長された場合には、本認定の有効期間もそれに従います。
なお、解約の申入れに基づく合意解約、及び認定の取り消しまたはエコマーク使用料の支
払いがなされない場合等に契約が解除されたときは、エコマーク商品の認定についてもそ
れぞれ解約日及び解除日に遡って終了します。
使用期間の確認は、毎年発行する「エコマーク商品使用期間確認書」にてご確認ください。

財団法人 日本環境協会
理事長 森高 昭夫

1/2

環境的側面

環境マネジメント

基本方針・行動方針

当社は容器包装プラスチックリサイクルを事業としており、事業自体が、循環型社会の実現に貢献するものです。基本方針・行動指針を以下のように定め、トップレベルの環境配慮型会社をめざして、実効ある活動を推進しています。

基本方針

JFEプラリソース株式会社は容器包装プラスチックリサイクル事業を通じて循環型社会の実現に貢献します。環境保全の重要性を認識し、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、環境マネジメントシステムを導入し、環境方針を全従業員に周知するとともに、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

行動指針

- (1) 適用される関連法規及び規制を遵守します。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築し、維持し、継続的に改善します。
- (3) 具体的には、以下の事項に取り組みます。
 - ①省エネ及びプラスチックリサイクル推進による二酸化炭素排出量削減
 - ②用水使用量の削減等による省資源
 - ③リサイクル率向上等による産業廃棄物削減
 - ④工場見学受入・環境展への参加等を通じて、地域環境教育への積極的取組み
 - ⑤グリーン購入推進

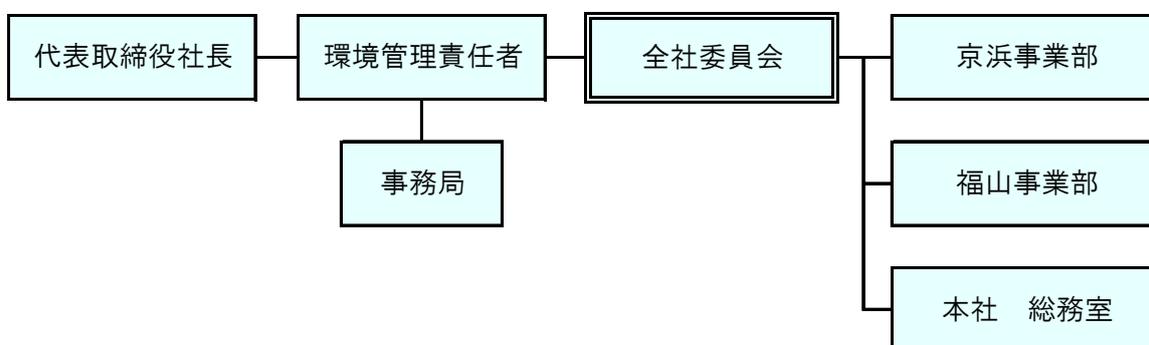
JFEプラリソース株式会社
代表取締役社長

堀田裕久

環境マネジメント体制

環境に関わる事項を遵守することはもちろんのこと、環境と調和した事業活動を展開することが、今や企業が存続していくための基本要件となっています。

当社は環境マネジメントシステムを導入し、全員参加型の環境マネジメント活動を進めています。代表取締役社長が環境管理責任者を任命し、環境管理責任者は各部門の活動を統括しています。各部門では、部署長（本社は総務室長）が自身の部門を統括し、上位部門に対して責任を負う体制としています。



代表取締役社長	環境方針を決定する。 活動の総合評価と方針の見直しを行う。 環境管理責任者、その他の責任者を任命する。
環境管理責任者	全社委員会を運営する。 本社総務室長及び京浜事業部長、福山事業部長、事務局を指揮し、活動を総括する。
事務局	環境管理責任者を補佐し、活動実務を中心的に行う。
全社委員会	活動事項の決定、報告を行う。 代表取締役社長、環境管理責任者、京浜事業部長、福山事業部長、本社総務室長及び事務局で構成し、環境管理責任者が召集する。
京浜事業部長	全社委員会の決定事項に基づき、京浜事業部を総括する。
福山事業部長	全社委員会の決定事項に基づき、福山事業部を総括する。
本社総務室長	全社委員会の決定事項に基づき、本社部門を総括する。

認証取得

水江原料化工場

JFEスチール株式会社東日本製鉄所（京浜地区）傘下で、ISO14001による環境マネジメントシステムを運用しています。

立地する東日本製鉄所（京浜地区）一体で取り組むことにより、地域の環境パフォーマンスの改善を強力に推進しています。



NFボード製造工場、福山原料化工場

省エネルギーや省資源など、事業活動に伴う環境負荷の低減について、より具体的な成果を得るべく、「エコアクション21」の認証取得・登録をしました。

環境への負荷・取組の自己チェック、環境方針・環境目標・活動計画の策定、計画の実施、取組の評価、見直しをガイドラインに沿って毎月実施しています。

2012年度は認定を更新するとともに、2013年度の目標設定見直しを行いました。



環境コミュニケーション

地域との融和をめざして

当社は「日本一きれいな工場」を目指し、日々の清掃活動を積極的に継続・推進しています。加えて「私達は環境と調和した社会の構築に貢献します」の看板を工場入口に設置し、来訪者に当社の方針を宣言しています。地域の皆様にとって和める環境づくりに貢献しうる会社となるべく、高木、芝地、草花の植栽など緑地の整備活動に取り組んでいます。



公道清掃活動

地域の皆様に当社工場周辺を心地よく通行いただけるよう、公道の清掃を定期的の実施しています。工場内の植栽と合わせて、すがすがしさの醸成に努めています。



＝ 京 浜 ＝



＝ 福 山 ＝

環境負荷低減への取り組みを通じて

当社は、「私達は環境と調和した社会の構築に貢献します」というスローガンの下、環境マネジメント活動の推進によりソフト面での充実を図ってきました。当年度は環境負荷低減と働きやすい安全な職場づくりに取り組みました。

1. 環境負荷低減への取り組み：乾燥炉燃料の都市ガス化

プラスチックの乾燥炉燃料として、従来は灯油を使用していました。都市ガスへ変更することによりCO₂発生量は約25%削減可能となり、SO_x及び燃焼時の煤塵の発生もなくなり環境負荷低減に大きく寄与しています。

2. 品質アップへの取り組み：電気温水器による水温管理

再生プラ造粒品の塩素は、塩化ビニル選別機の水温が低下すると塩ビの選別効率が低下し塩素が上昇するため、冬季の水温管理が課題でした。電気温水器の導入により、塩素の低位安定化を達成しました。

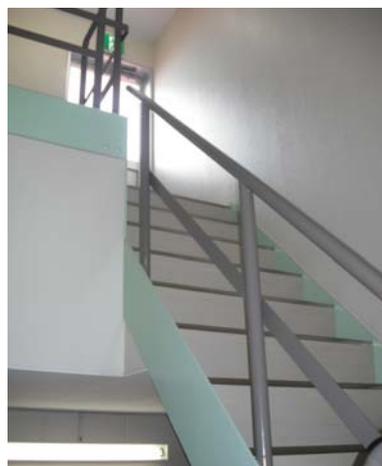


3. 作業環境改善への取り組み：残渣置場集約

工場から発生する残渣の置場を屋外一箇所に集約させることにより、安全面・環境面において顕著な効果をあげました。

4. 大規模地震時避難への取り組み：3階から屋上への階段新設

大規模地震による津波を想定し、緊急避難先を屋上（3階建）と決めました。従来、屋上へ上る手段は「さる梯子」のみでしたが、避難経路の最適化のため「階段」を設置し、避難場所としてペントハウスを設置するなど従業員の安全確保に努めています。



使用済プラスチックリサイクル一貫システムを通じて

当社は、一般家庭から排出されたプラスチック製容器包装を再資源化し、再生プラスチック商品（NFボード等）を社会にリサイクルしています。使用済プラスチックリサイクル一貫システムにより、循環型社会の実現に貢献しています。

1) 一般家庭から分別排出

一般家庭で発生したプラスチック製容器包装は、貴重な都市資源です。まず、分別して排出していただきます。

2) 市町村の分別収集・選別・ベール化

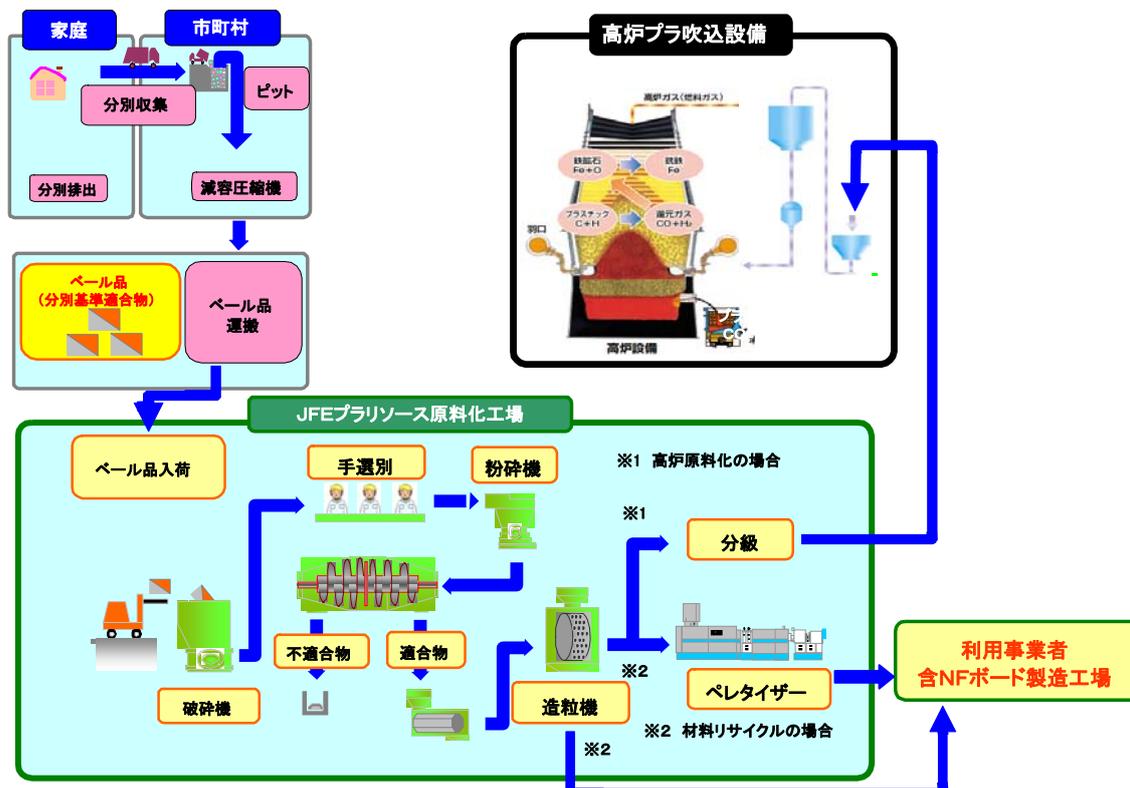
市町村が分別収集し、異物を取り除く選別と圧縮ベール化を行います。

3) 当社で再資源化

当社でさらに選別/破碎/粉碎/塩ビ分離/洗浄/脱水/乾燥後、造粒/ペレタイズして、再生プラ造粒品及びペレットとします。

4) 社会にリサイクル

NFボードなどの再生プラスチック商品に加工され、社会に材料リサイクルするとともに、高炉でコークス代替原料として利用され、石炭や微粉炭等の化石資源の節約に寄与します。



来訪されたお客様を通して

当社では、お客様ルームにて原料から製品までの製造フローパネルや当社製品を利用した商品を展示し、見学時にご案内しています。2012年度には商品開発・品質検査の「見える化」に取り組み、更なる情報公開に努めています。



京浜 お客様ルーム



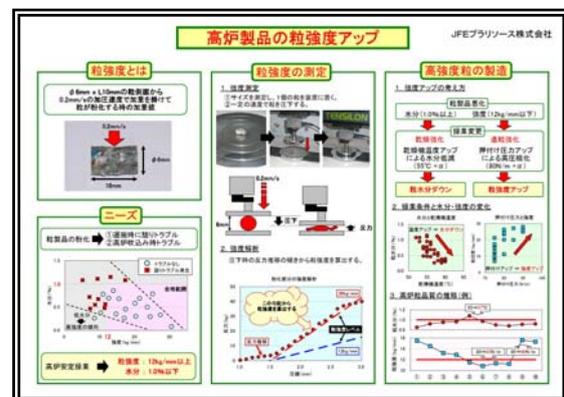
福山 お客様ルーム



福山 商品開発室



テーマ：ペレット製品中の異物低減



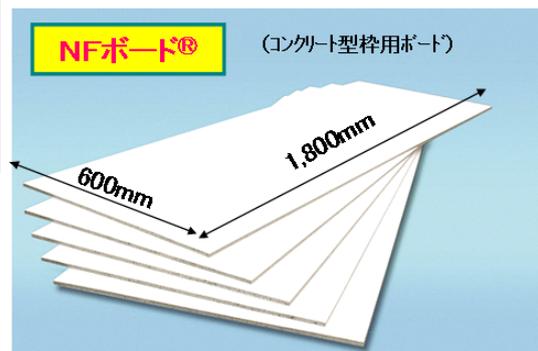
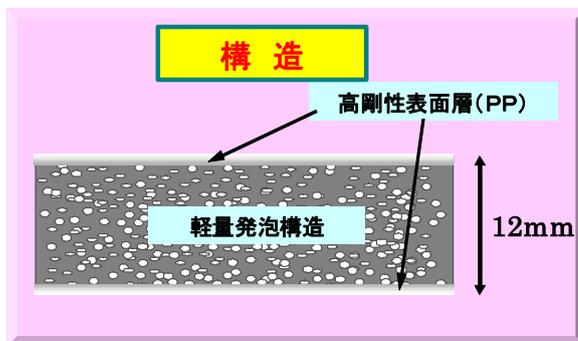
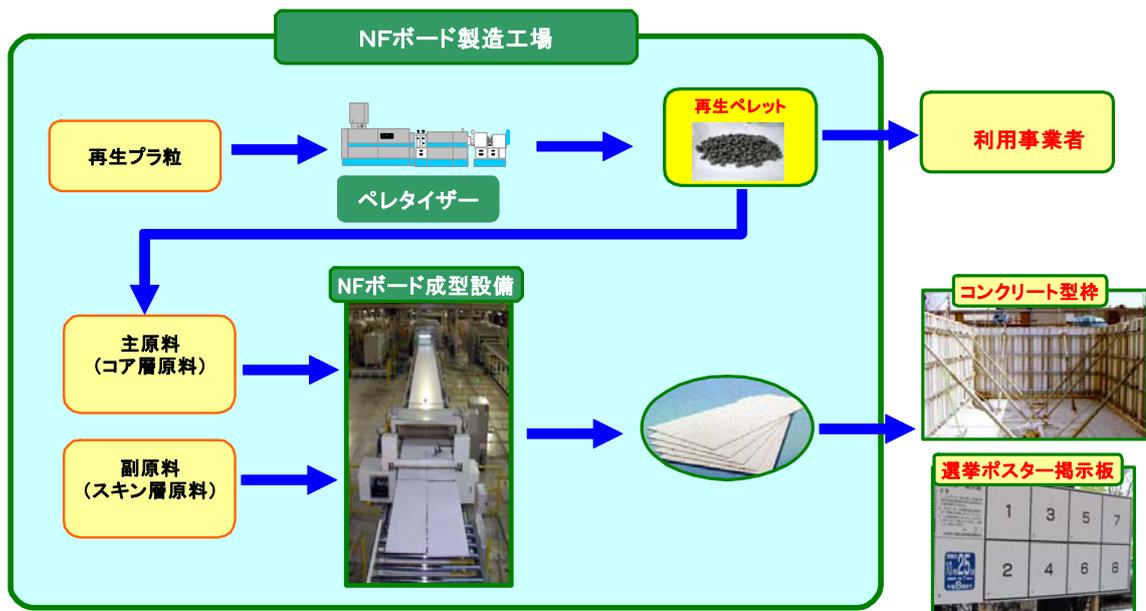
テーマ：高炉製品の粒強度アップ

NFボードのリサイクルを通じて

当社では、プラスチック製容器包装の再資源化商品として再生プラスチックボードを製造しています。再生プラスチックボードはバージンプラスチックの代替となり、資源節約に貢献しています。

ボード製品は従来、畜舎内壁用途から選挙ボードなどの掲示板や製鉄所で使用されるコイル保護板などにご利用いただいております。2012年度には東京都や首都高速での道路標識基礎型枠、警視庁の信号機材基礎型枠の認定を受け、用途拡大とともに市民の皆様への「リサイクルの見える化」に注力しています。

ペレットと呼ばれる再生プラスチック原料は、パレット・雨水貯留槽・プランターなどの生活に密着した製品に加工され、一般市民の皆様にご利用いただいております。



NFボード・SLボード用途を通して



ペレット用途を通して



環境負荷の低減

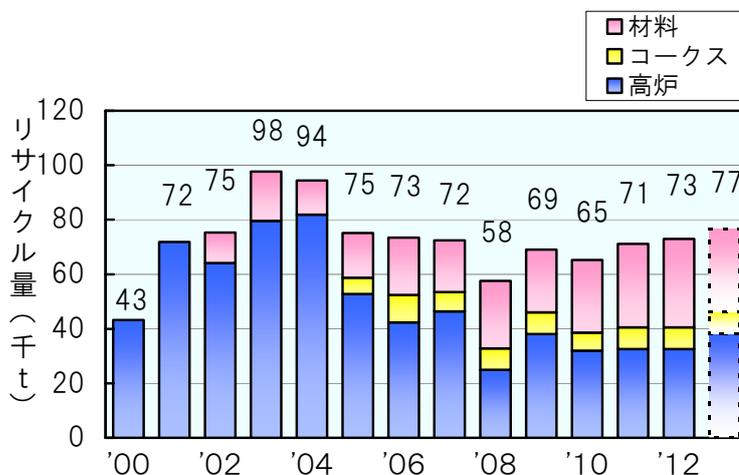
プラスチック製容器包装のリサイクル

当社は、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）に基づき、一般家庭から排出されたプラスチック製容器包装を再資源化し、再生プラスチック商品として社会にリサイクルしています。

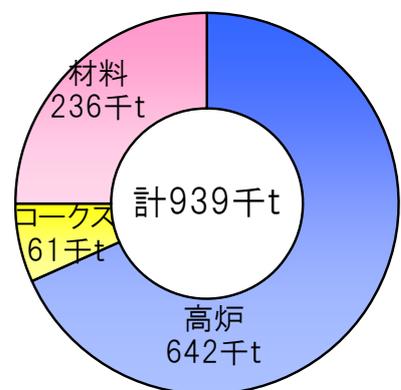
容器包装リサイクル法では、5つの手法が定められており、当社は、「高炉還元剤」、「コークス炉化学原料化」、「材料リサイクル」の3手法を行っています。2000年4月の法施行と同時にリサイクルを開始し、以来、資源循環型社会づくりに努めています。

工場	手法	2000	2002	2004	2006	2008	2010	2012	2013
水江 原料化工場	高炉	→ 13年							
	コークス				→ 8年				
	材料		→ 11年						
福山 原料化工場	高炉	→ 13年							
	材料				→ 7年				

2000年度の事業開始以降、プラスチック製容器包装をトータル約939千tリサイクルしています。これは、全国総量の約15%を占めています。



プラスチック製容器包装リサイクル量の推移

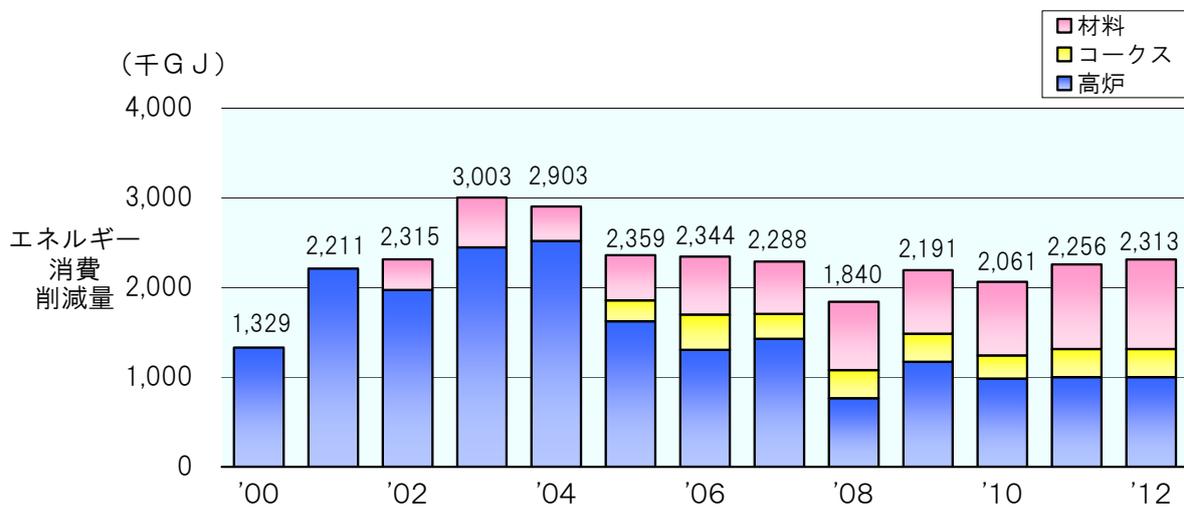


リサイクル手法の内訳 ('00~'12 939千t)

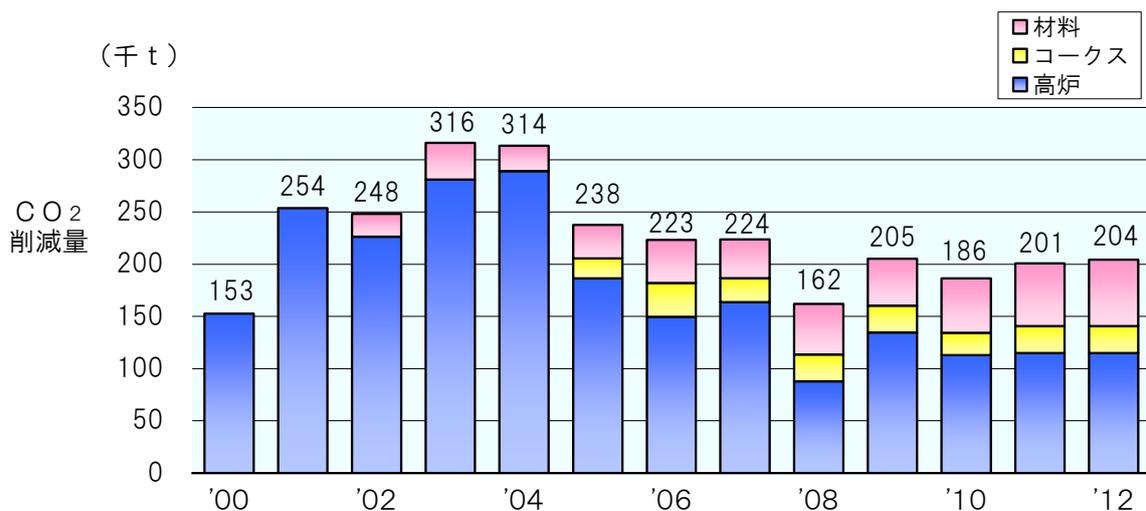
リサイクルによるエネルギー消費、CO₂排出の削減

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会は、エネルギー消費量、二酸化炭素排出量等の環境負荷削減効果について検討・評価し、「プラスチック製容器包装再商品化手法に関する環境負荷等の検討」（2007年6月）にまとめています。

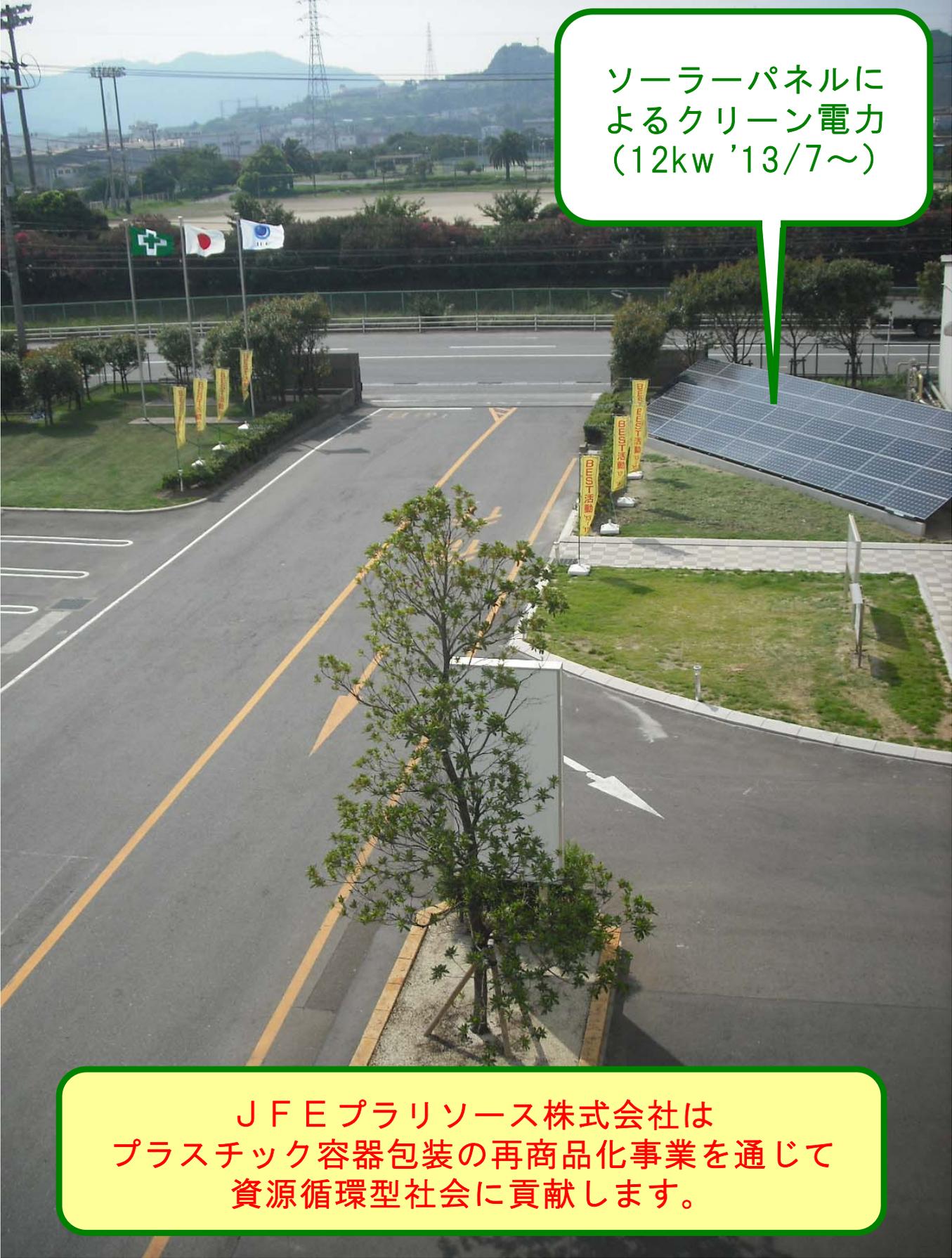
同報告に記載の削減原単位を適用すると、当社のエネルギー消費削減とCO₂削減効果は以下の通りです。エネルギー消費削減量は年間約 2,000 千GJ、CO₂削減量は年間約 200 千tで推移し、環境負荷削減に寄与しています。



リサイクルによるエネルギー消費削減量の推移



リサイクルによるCO₂削減量の推移



ソーラーパネルによるクリーン電力
(12kw '13/7~)

JFEプラリソース株式会社は
プラスチック容器包装の再商品化事業を通じて
資源循環型社会に貢献します。



JFE プラリソース 株式会社

本社・京浜事業部

〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1
TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328

福山事業部

〒721-0956 広島県福山市箕沖町113番地
TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170

<http://www.jfe-plr.co.jp/>